

# 有害プランクトン情報 (平成27年度 - No. 5)

千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所  
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトンの調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えることがありますので、毎月1回「有害プランクトン情報」を発行して出現状況をお知らせします。

## 【プランクトンの出現状況】

- 調査日           8月 第1回       :       内湾 (8地点)   8/3           内房 (7地点)   8/3
- 8月 第2回       :       内湾 (8地点)   8/20          内房 (7地点)   8/21
- シャットネラ属及びシュードシャットネラ属の有害プランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。
- ヘテロシグマ属の有害プランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。
- 赤潮は、8月20日に湾奥沿岸の一部で確認されました。優占種はケイ藻のプレウロシグマでした。

※ シャットネラ属プランクトンは1細胞/1ml, ヘテロシグマ属プランクトンは1000細胞/1mlの密度を超えた場合に注意報を発行します。

## ○ 各海域で見られたプランクトンの優占種

8/3	内湾北部	渦鞭毛藻	<i>Prorocentrum micans</i>	(図1)
			(プロロセントルム ミカンス 長さ:0.04~0.07mm)	
	内湾中央部~内房	ケイ藻	<i>Skeletonema sp.</i>	(図2)
			(スケレトネマの一種 直径:0.01mm)	
8/20	内湾	ケイ藻	<i>Pleurosigma sp.</i>	(図3)
			(プレウロシグマの一種 長さ:0.12~0.15mm)	
8/21	内房	ケイ藻	<i>Pseudo-nitzschia sp.</i>	(図4)
			(シュードニツシアの一種 長さ:0.04~0.07mm)	



図 1



図 2

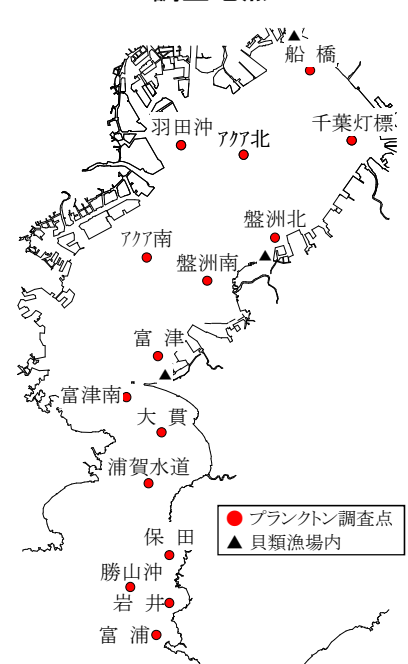


図 3



図 4

## 調査地点



## 【貝毒プランクトンの状況】

- 調査日       沖 合       :       内湾 (8地点) 8/3
- 貝類漁場内 :
- 麻痺性貝毒が発生する原因となるプランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。
- 下痢性貝毒が発生する原因となるプランクトンは、すべての調査点で確認されませんでした。

連絡先：千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所

〒 293-0042 富津市小久保3091

TEL 0439-65-3071

E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp